

施工ガイド

ドア錠

1

丁番

2

スライド
丁番

3

開き戸
金具

4

引戸錠

5

引戸
金具

6

上吊式
引戸金具

7

移動
間仕切
金具

8

折戸
金具

9

室内用
アルミ
建具

10

取手・
引手

11

スライド
ワイヤー
バスケット

12

収納・
吊金具

13

その他
の家具
金物

14

物干金具・
諸金具

15

真鍮
アンティーク

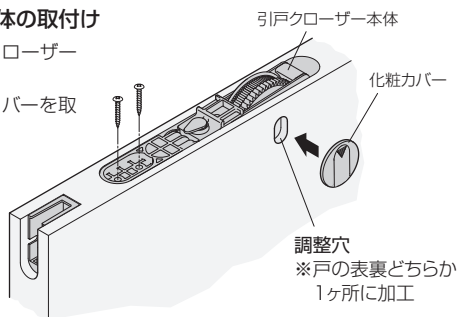
16

設計
施工
ガイド

会社案内

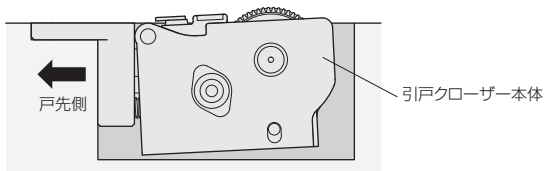
5. 引戸クローザー本体の取付け

- ① 戸の加工部に引戸クローザー本体を取付けます。
- ② 戸の調整穴に化粧カバーを取付けます。



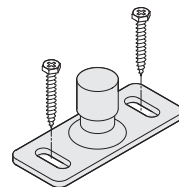
ご注意

引戸クローザー本体を戸先側にしっかり押し当てながら固定してください。



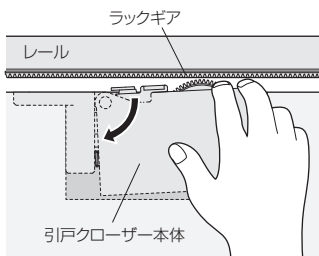
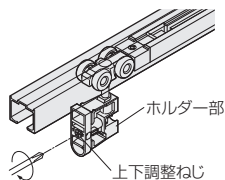
6. 下溝用ガイドレール・下部ガイドの取付け

- ① 戸に下溝用ガイドレールを取付けます。
- ② 下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。

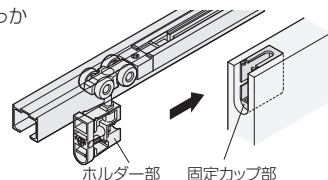


■戸の吊込み・位置調整

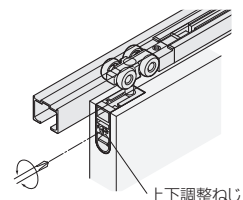
- ① 上部吊り車の上下調整をします。ホルダー部の上下調整ねじを左に回し、最下位までホルダー部を下げます。
- ② 下部ガイドに戸の下部ガイド溝を、挿入します。
- ③ 引戸クローザー本体を手で押さえると、引戸クローザー本体がゆっくり下がります。その状態で戸を起こし、レールのラックギアと噛み合わせます。



- ④ 固定カップ部にホルダー部をしっかり差込みます。※しっかりと挿入し、抜けないことをご確認ください。



- ⑤ ホルダー部の上下調整ねじを回し、戸の位置調整をしてください。※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



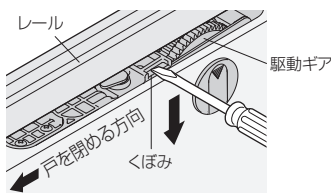
※ソフトクローズの速度調整はできません。

■自動駆動力の設定

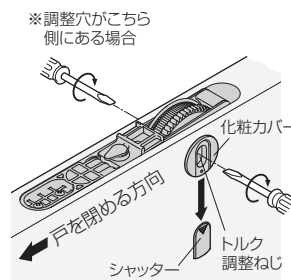
ご注意

初期状態の自閉駆動力は適正ではありません。引戸クローザーの設定をする必要があります。この操作は必ず、引戸を吊り込んだ状態で行ってください。

- ① 戸を手動で閉めさせてください。
- ② レールと戸の隙間から引戸クローザー本体のくぼみにマイナスドライバーなどを差し入れて、引戸クローザー本体を押し下げます。駆動ギアが回転するので、自然に回転が止まるまで引戸クローザー本体を押し下げ続けます。※駆動ギアが自然に止まる前に回転を止めようと、正常に作動しなくなります。



- ③ 化粧カバーのシャッターを下にスライドさせて外します。
- ④ マイナスドライバーで、駆動ギアの側面にあるトルク調整ねじを、矢印の方向へ回します。4回転が標準的な駆動力になります。
- ⑤ シャッターを化粧カバーにはめ込みます。



■引戸クローザーの調整

引戸が閉まりきらない場合

- 戸が何かに干渉して、摩擦抵抗が発生している場合があります。戸に干渉する箇所がないようにしてください。
- 駆動ギアが空回りしている場合は、吊り車の上下調整を行い、レールのラックギアと駆動ギアがかみ合うようにしてください。
- 以上の問題が解消しても閉まりきらない場合は、上記「自動駆動力の設定」を参照し、トルク調整ねじを回して駆動力を強めてください。調整する際は、戸が閉まる速度をこまめに確認しながら調整してください。

引戸を開ける時に重い・勢いよく閉まってしまう場合

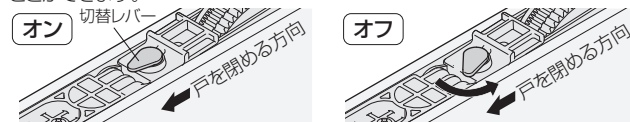
- 「自動駆動力の設定」の手順を最初から行ってください。調整する際は、戸が閉まる速度をこまめに確認しながら調整してください。

ご注意

駆動ギアユニットのトルク調整ねじは弱方向には回させません。

■フリーストッパー機能のオンとオフ

戸を閉めた状態で切替レバーを傾けると、フリーストッパー機能をオフにすることができます。



ご注意

フリーストッパー機能の切替は戸を閉めきった状態で行うようにしてください。それ以外の状態で操作を行うと、金物が破損するおそれがあります。

■操作説明シールの貼り付け

すべての金物の調整が完了したら、引戸木口面の下側に「ご入居様向け操作説明」シールを貼ります。

